KYOCERA

長くお使いいただくためのソリューション
～アクセサリーで端末にもっと安心を～



DuraForce EX2



ハンドベルト



液晶保護フィルム

端末の破損リスクは、使い方や使用する環境によって変化します

ー 破損リスクが高まりやすい利用シーン ー

移動時の持ち運び

業務中に端末を持ち運ぶ機会が多いと、移動や端末の出し入れを繰り返す中で、端末を落としたり周囲にぶつけたりしやすくなります。



片手操作

他の作業と並行して片手で端末を操作すると、端末をしっかりと持つことが難しくなるため、落としやすくなります。



屋外利用

砕石や路面の突起などに端末が当たると、一部に強い力が集中する場合があります。



高い位置での作業

作業台など、高い位置での作業中に端末が落下すると、落下先の状況によって受ける衝撃が大きくなる場合があります。



これらの利用シーンは、端末の落下や衝突による破損リスクを高める要因となります。DuraForce EX2は高耐久設計により破損リスクの低減を図っていますが、より安心してお使いいただくためには、落下防止や画面保護といった予防対策も重要です。

※画像、画面、イラストはイメージです。

破損リスクを低減する2つのアプローチ

落下を防ぐ



ハンドベルト（HBS702）
落下リスクを低減（予防）

手からの落下を抑える → 落下回数の低減 → 端末の破損リスクを抑える

衝撃に備える



液晶保護フィルム（DFS704）
画面への衝撃を緩和（保護）

フィルムが衝撃を緩和 → 突起物から画面を保護 → 画面割れを抑える

端末を保護 業務継続



ロングストラップ（LSS701）
も取付け可能



ハンドベルトによる落下防止と、液晶保護フィルムによる画面保護を組み合わせることで、端末の破損リスク低減に役立ちます。これにより、修理や交換に伴う業務影響を抑え、安定した業務運用を支援します。

※ 本資料における性能は、実際の使用時すべての状況での動作を保証するものではありません。また、無破損・無故障を保証するものではありません。※画像、画面、イラストはイメージです。

端末破損リスク低減がもたらす導入効果



修理・交換コストの抑制

修理費用や交換費用に加え、代替機の手配、端末の再調達、キッティング、配送など、故障に伴って発生する関連コストを抑制します。



運用管理負担の軽減

故障受付や問合せ対応、修理・交換手配、代替機管理などの業務を削減し、情報システム部門や運用管理部門の負担軽減に貢献します。



ダウンタイム抑制

端末故障に伴う代替機の手配、キッティング、データ移行、業務再開までの待機時間を削減し、現場業務への影響を最小限に抑えます。



業務継続性の向上

端末破損による突発的な業務中断を抑え、店舗・物流・フィールドサービスなど、端末を日常的に使用する現場の安定運用を支援します。



端末の長期利用によるTCO改善

端末の修理・交換頻度を抑え、使用期間の長期化を図ることで、端末の導入から運用、保守、更新までのライフサイクル全体における総所有コスト（TCO）の改善に貢献します。

アクセサリーのご購入は、販売代理店までお問い合わせください。

※ 本資料における導入効果は、お客様のご利用環境、使用頻度によって異なります。

※画像、画面、イラストはイメージです。

商標・注釈

※「DURA FORCE」は京セラ株式会社の登録商標です。
※ その他の社名および商品名/サービス名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。
◎ 製品仕様およびサービス内容は、予告なく変更することがあります。
◎ 掲載内容は2026年11月現在のものです。
◎ 本資料に記載の内容を無断で複製、転載することを禁じます。



© 2026 KYOCERA Corporation